



川東小だより

第7号

令和3年11月15日
新発田市立
川東小学校

読書の習慣を！

校長 岡崎 功一

二王子岳も赤や黄色の紅葉に染まり、グラウンドのプラタナスの葉っぱも黄色から茶色へ変わる季節となりました。秋の深まりを感じます。最近、急激に気温が低くなりましたが、子どもたちは、休み時間、グラウンドや体育館で思い切り遊んでいます。川東っ子は、本当に体を動かして元気に遊ぶ子どもたちが多いと感じます。二学期も後半に入りました。日々の積み重ねを大切にしていきたいと思えます。

1 読書旬間の取り組み

11月8日（月）から16日（火）まで、川東小では読書旬間となっています。ちょうど今、期間中となります。昨今、子どもたちの家庭での生活もメディア視聴やゲーム時間が長い傾向があり、読書をする時間が少なくなっている傾向にあります。この機会を読書に親しみ読書の習慣付けにつながる取組にしていきたいと思えます。川東小では、具体的には、次の取組を行っています。

- 1 キャリアタイム時等の読書タイム
- 2 図書委員会 委員のおすすめの本紹介 期間中2冊まで貸し出し
- 3 先生方おすすめの本を紹介するコーナーの設置
- 4 読み聞かせ（中央図書館のボランティアの方から）



このように読書に興味関心を持てるように環境づくりをしています。

11月の全校朝会でも、子どもたちへ読書週間について話をしました。読書の効果には、「①健康で長生きする。②夢をかなえる力がつく。③人の気持ちが分かり友達と仲良くなれる。④効率的に学ぶことができる。⑤自分の意見をもつことができる。⑥よいアイデアが生まれる。」があること。併せて、子どもたちには大いに読書に親しんでほしいことを話しました。

2 読書の習慣を身に付けるために

先日の休み時間の図書室でのことです。何人かの子どもたちが、本を読んでいた。その中の一人に話かけてみたところ、「かいけつゾロリシリーズ（子どもたちに人気の物語）は、全部読みました。」という答えが返ってきました。進んで読む習慣が付いているなど感心しました。しかし、一方で普段、あまり本を読まない子もいます。そこで、読書の習慣を身に付けるには、どうしたらよいかについてです。これは、自分自身の体験から言えることですが、「時間を確保してあげること」が効果的だと思います。

私の小学生のときの体験です。休み時間は、遊んでいることの方が多く、図書室で進んで読書をするような子ではありませんでした。でも時々、授業時間に図書室へ行って本を読む時間がありました。私は、この時間が楽しみでした。絵本や物語、おもしろそうだと思う本を選び読みました。私が、かつて学級担任をしているときにも、このような時間を設けました。休み時間、夢中で遊んでいた子も、そのときは、選んだ本を落ち着いて静かに読んでいる姿が印象に残っています。この読書時間の確保が、読書の習慣付けになる一歩だと思います。

ご家庭でもこの機会に、お子さんに本の読み聞かせをしたり、家族一緒に読書タイムを設けたり、秋の夜長の時間を過ごしてみたいかかでしょうか。ご家族で本に親しむ時間を共有すれば、話題も増え、親子の絆を深める機会になると思えます。

